

# 萩ジオパーク 推進協議会だより

vol.53

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>

2019年7月30日発行 萩ジオパーク推進協議会



## 萩ジオユニバースがスタート

萩ジオパークについて様々な体験を通して学ぶ地域住民向け講座「萩ジオユニバース」がついにスタートしました！6月末から始まった「萩ジオアカデミー」、7月から始まった「大地の遊び人養成講座」について、ご紹介します。

### 萩ジオアカデミーはじまる！

一昨年に「萩ジオマスター講座」の必修講座として、昨年からは「萩ジオアカデミー」として開催している連続講座が、今年も始まりました。全5回で、萩の地質や地形について実際に調査・研究された研究者を招き、座学と現地見学で学ぶという内容です。

6月30日に行われた初回の講師は、萩ジオパーク推進協議会の顧問でもある山口大学の脇田浩二教授。「南の海から来た大地」と題して、1億年にわたるマグマの活動の前の、大地の土台をつくった地球の活動を学びました。

座学では、南の海の火山島にできたサンゴ礁が、プレートの動きに伴って移動し、やがて大陸の一部になるという地球規模の活動が萩の大地の土台を形作っているという話や、実はマグマの活動と海の中につくられる地層と深い関係があるといった話を分かりやすくお話しいただきました。現地見学は、萩市川上の阿武川沿いや福栄の半田地区で岩石を観察し、3億年以上前の南の海から、1万数千kmもの距離を移動してきたという地球の歴史に触れました。何も知らなければ道路わきの何気ない岩ですが、地球規模の大きな活動の記憶を秘めたもので、私たちはそうした大地で暮らしているということを感じることができました。

萩ジオアカデミーの次回は9月1日（日）、萩で起きた最も新しいマグマの活動「阿武火山群」について学びます。参加申し込みをお待ちしています！



脇田先生による解説を聞きながら、川上の阿武川沿いの露頭を観察。



## “大地の遊び人養成講座” はじまる！

萩ジオパークの新たな講座「大地の遊び人養成講座」がいよいよ始まりました。“だって地球が、呼んでいるんだ。”をキャッチコピーに、プロの“遊び人”から地球と本気で遊ぶ方法を教わります。

7月15日（月・祝）に実施された第1回は「地球と遊ぶシーカヤック」。講師は阿武町を拠点に活動されている、GI Paddlersの高井一さん。丁寧に教えていただき、全くの初心者も自らの力で海に漕ぎ出しました。抜群の天気の中、大海原を進み、時には洞窟の中、時には狭い岩の隙間を通り抜けていきました。

エンジン付きの大きな船では味わえない、海と一体化する感覚、そして1億年の時間をかけて地球が生み出した地層の中へと直に入りこむ体験は、シーカヤックならではの。感動の声が絶えませんでした。

体験終了後には、高井さんとフリートーク。様々な経験談や、考え方を聞かせていただきました。このつながりが、これからの“大地の遊び人”としてのキャリアの始まりとなることを願っています。



### 参加者からの体験レポート

今回初めてのシーカヤック、波に乗り、漁船では入れない洞くつに入ったり、海の上でゆっくり魚を観察したり、初めて体験した事だらけで楽しくて仕方ない！！次はぜひ家族と一緒に参加したいです。「相島にカヌーでスイカを買いに来る人がいるよ」。以前、島の方に聞いて、ずっとその人に会ってみたいと思っていました。今回の指導者である高井さんがまさにその人でした。私も上級者になって、そんな体験をしてみたいです。

磯野淳子

## 夏休みだ！萩ジオパーク行こう！！「火山の磯たんけん」

「夏こそ地球を体感する季節！」今夏、萩ジオパークでは笠山での親子たんけんプログラムを用意しました。

「火山の磯たんけん」、「火山の森たんけん」、「危険生物に遭遇!?親子de火山たんけん隊」の3つで、「森たんけん」は3名以上で7日前までに電話申込みがあれば、いつでも参加可能です。スペシャルプログラムである「危険生物に遭遇!?親子de火山たんけん隊」は萩博物館とコラボし、7月27日に「朝のたんけん」を開催しました。次は8月24日に「夜のたんけん」を行います。

そして、「磯たんけん」は笠山ジオの会の皆さんと一緒にプログラムを作り、夏休みの全日曜日に実施します。7月21日は悪天候で中止しましたが、15日と28日は、定員10名で実施しました。

黒くゴロゴロした石が広がる磯。海に入り、箱めがねを使っただけで見ると、足下にはいろんな生き物が！大人も子どもも夢中になって捜しました。黒い石は生き物の住処？次の磯はもっと大きな岩場です。ごつごつした大きな岩。ブツブツ穴も開いています。火山の磯たんけん…火山が作る石、溶岩が生き物の住処となり、漁師さんの生活の糧となることを聞きました。仕上げは地元の昔ながらのおやつ「トコロテン」。たった1時間のプログラムですが、五感で楽しむ体験にみんな満足げに帰路へ。新たな萩の体験プログラムの誕生です。



楽しく磯遊び！どんな生き物が暮らしている？



荒々しい磯の岩肌。生き物たちの絶好の住処が、良い漁場をつくったのです。

たった1時間のプログラムですが、五感で楽しむ体験にみんな満足げに帰路へ。新たな萩の体験プログラムの誕生です。



## 萩と鎌倉の架け橋に！トワイライト・ジオツアー特別編

7月22日、神奈川県鎌倉市の中学生と萩市の中学生、合わせて30名をトワイライト・ジオツアーと題して白井専門員がご案内しました。萩市と鎌倉市は姉妹都市。中学生同士の交流行事の一コマを萩ジオパークが担当しました。

萩の城下町を散策し、江戸時代にタイムスリップした気分そのまま菊ヶ浜へ向かう、夕方の1時間を使ってのツアー。400年以上前に築かれた侍の町は、実は砂丘に支えられていたことを肌で感じてもらいました。

菊ヶ浜に出るなり鎌倉の子らから驚きの声。「砂が白い！」。そうなんです。萩の子たちには当たり前前の白い砂浜は、1億年前に地下で活動していたマグマ、花崗岩が崩れてできたもの。花こう岩が多く分布する中国地方では当たり前ですが、全国的にはそう多くないのです。あらかじめ鎌倉市の職員さんに頼んで持ってきていただいた鎌倉の砂と見比べて、萩の子たちも「砂が黒いの!？」と納得。

最後は日本海を背景に、みんなで記念撮影。楽しい時間を過ごすことができました。



北の総門をくぐって、いざ入城！



萩と鎌倉の子どもたち全員で恒例の?! 菊ヶ浜ジャンプ

## 令和元年度ジオパーク活動補助金の交付団体が決定しました

### ① 萩ジオツーリズム協会

事業名：大地と人のつながりをもっと上手に伝えられるようになろう「ジオガイドフォローアップ講座開催事業」  
事業概要：ガイドのフォローアップ講座を開催し、ガイド技術の向上と人材育成を行う。  
交付決定額：213,000円

### ② 萩のジオパークってなんじゃろう会

事業名：平蕨台で育った野菜はなぜ美味しいの？—大地の上で生活する仲間へ呼びかける—  
事業概要：サツマイモ掘り体験を通じ大地の恵みを体験してもらうことで萩ジオパークに興味・関心を持ち、共に楽しむ仲間づくりを行う。  
交付決定額：127,000円

### ③ 萩パエリア巡礼実行委員会

事業名：萩の大地と人のつながりをパエリアで楽しもう！『萩パエリア巡礼』情報発信事業  
事業概要：萩市内各地でイベント展開中の「萩パエリア巡礼」の映像制作を行い、「大地・人・食」の魅力を情報発信することを目的とする。  
交付決定額：300,000円

### ④ 竹紙キャラバン

事業名：『竹紙』キャラバン ～竹紙をテーマに、大地と人の暮らしがつながることを伝える～  
事業概要：竹紙漉き体験イベント・ワークショップを通じて、「萩の竹」を題材に大地と人のつながりが“見える”“伝わる”取組みとする。  
交付決定額：197,000円

## ジオ・カメラ散歩

みなさんからの  
素敵な投稿写真をお待ちしています。  
萩ジオパーク推進協議会代表メールへ  
お気軽にどうぞ  
[geo@city.hagi.lg.jp](mailto:geo@city.hagi.lg.jp)



7/25 ジオカフェのようす。栗駒山麓 GP とスカイプで交流しました。

7/18の曇ヶ淵のようす。大雨の最中、濁流です。  
ジオ友の会・中西さんから提供いただきました。



## おかしなジオパークめぐり 干し柿シャーベット (栗駒山麓ジオパーク)

宮城、秋田、岩手にまたがる栗駒山。その麓に広がる里山の冬の風物詩が、軒下につるされたオレンジ色の干し柿です。柿は寒冷地では渋みが抜けず、甘く熟した実がなりません。そのため、渋柿を丁寧に処理し、寒風と日光にさらすことで甘い干し柿をつくるのです。もぎたてフルーツ工房「土里夢」の「干し柿シャーベット」は、そんな干し柿をふんだんに使ったシャーベット。夏に食べると口いっぱいに冬の冷たさと濃厚な干し柿の甘みが広がり、身も心も暑さを忘れられる一品です。くずれ続ける山と、厳しい寒さの中から恵みを見出してきた人々の姿を感じてみてはいかがでしょうか。



フタを開けると濃いオレンジ色のシャーベットが。そのまんま柿！の味が口いっぱいに広がります。

## レポート JGN全地域事務局長会議

7月17・18日に東京で開催されました。来年度の役員体制や事務局体制の協議のほか、OB・OGの会の設立、ジオパークマガジンへの情報提供依頼などの情報共有がありました。

また、大分県職員から11月の全国大会参加の願いがありました。1,200名の参加を見込み、宿泊は大分市、豊後大野市、別府市に1,000室準備しているとのことでした。姫島、豊後大野、阿蘇でのポストジオツアーも予定されています。次号で詳細をお知らせしますので、ご期待ください。

## 8月の予定 ~Information~

- 神秘の火山「笠山」に行こう！「火山の磯たんけん」** 8月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)  
時間：10:00～11:00 集合場所：笠山虎ヶ崎つばきの館前 内容：火山の麓の磯に暮らす生き物を探してみる。  
定員：10名(先着順、最少催行人数:3名、申込〆切:開催日の3日前) 参加費：1,500円(大人1人子ども1人のセット割引2,500円)  
主催：笠山ジオの会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)
- 教員向けジオパーク研修会** 8月8日(木)9:00～12:00 集合場所：萩・明倫学舎 内容：笠山を会場に2つの学校向け体験プログラムに参加し、学校現場でどう活用できるかを検討します。 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込み：8/5(月)までに萩ジオパーク推進協議会事務局(萩市ジオパーク推進課)(0838-21-7765)
- ジオとも例会(ジオ探訪)** 8月24日(土)10:00～16:00 集合場所：須佐駅駐車場 内容：須佐湾クルージングと地層めぐり 参加費：2,000円(乗船料込) その他：弁当持参、〆切8/20(火) 主催：萩ジオ友の会 問合せ：ジオとも(西嶋)(0838-26-6123)
- 神秘の火山「笠山」に行こう！スペシャルイベント「危険生物に遭遇!?親子de火山たんけん隊」** 8月24日(土)18:30～20:00 集合場所：笠山山頂駐車場 内容：火山の山頂で美しい夕日を楽しんだ後、ライトトラップに集まる生き物探し。 定員：20名(先着順) 参加費：1,500円、中学生以下1,000円 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)
- はぎジオカフェ** 8月29日(木)18:30～20:00 会場：萩・明倫学舎 内容：全国のジオパーク、今回は「立山黒部ジオパーク」とテレビ電話を介して、つながります。 参加費：300円 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込み：前日までに萩ジオパーク推進協議会事務局(萩市ジオパーク推進課)(0838-21-7765)
- 萩ジオアカデミー②「阿武火山群①」** 9月1日(日)10:00～15:00 集合場所：萩・明倫学舎 内容：阿武火山群の不思議「マグマミキシング」のお話とそれがよくわかる場所「千石台」を訪ねます。講師は角縁進(佐賀大学)。 定員：30名(先着順、〆切8/23) 料金：1,000円(保険料、昼食代込み) 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765) ※**野外巡検場所を「笠山」から「千石台」に変更します。**
- 大地の遊び人養成講座「地球と遊ぶカヌー」** 9月8日(日)9:00～16:00 集合場所：阿武川カヌー艇庫前 内容：カヌーで川の流れを体感します。タンドム艇やカナディアンカヌー、SUPまで様々な種類のカヌーを乗りこなしてみよう。 料金：2,000円 定員：20名(先着順、〆切8/30) 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)

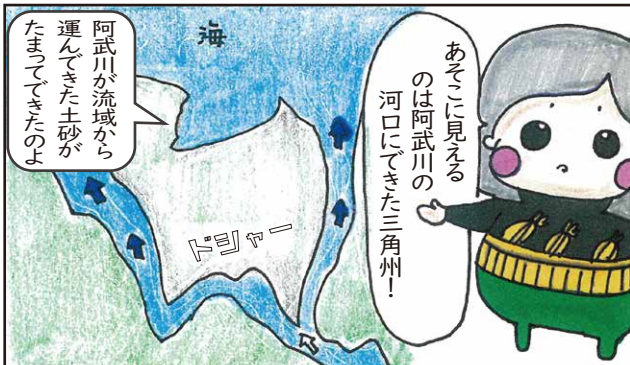
※●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)までご連絡ください。



# がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

## 第10話 三角州のでき方になっとく!?



## 第11話 萩の夜景は火山のおかげ?





# わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説~

萩市椿東にそびえる田床山の山頂は、眼下に萩の市街地を見渡せる場所にあります。読者の皆さんも、一度は登ったことがあるのではないですか？また、遠くに萩六島も見渡せる絶景が広がっているこ

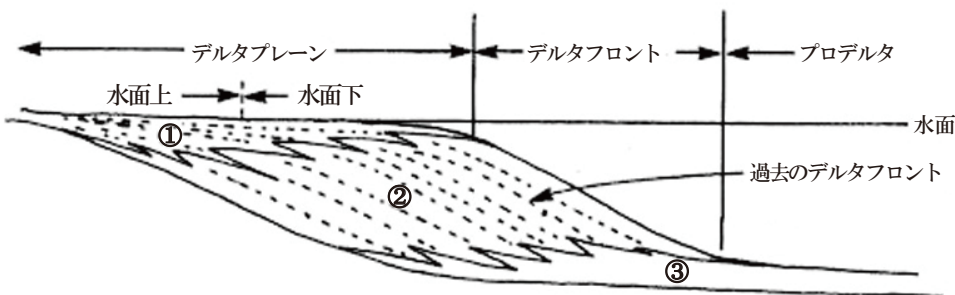


とは、前回お話した通りですね。さて、この萩の市街地は、阿武川が運んできた土砂が、河口で堆積してできた三角州の上に発達しています。三角州には、いろいろな形があります。鳥の足の指のような形をした鳥趾三角州、扇の形をした円弧状三角州、河口に近い部分にだけ形成された尖状三角州などがあります。萩の三角州はどれにあたるか？地図をみて考えてみてくださいね。



萩三角州周辺の地質図

三角州を縦に切った断面は下の図のようになっています。一番上に頂置層、真ん中が前置層、一番下が底置層です。左側から川が流れて来て右側の海の方へ、土砂を運びます。土砂が沢山流れてくると、どんどん前に大きくなっていきます。土砂がどんどん来るから、限りなく大きくなるか？と思うとそうではなく、海では海岸に沿った海水の流れがあって、この三角州の前面に砂州を作ったりします。萩の三角州の一番海側の地下に古い砂州があって、旧城下町は、この砂州の上に発達しました。



- ① 頂置層 (topset) あるいはデルタプレーンたい積物
- ② 前置層 (foreset) あるいはデルタフロントたい積物
- ③ 底置層 (bottomset) あるいはプロデルタたい積物

萩の三角州を南から歩いてくると北(北西)側が少し高くなっています。この地下が古い砂州なのです。ここに目をつけるなんて、萩の武将はさすがですね。(笑)



田床山山頂から眺める萩の夜景。沖にはいさり火が。

三角州ができるためには、川が沢山の土砂を河口に運んでこなければなりません。この三角州へ土砂を運んでくるのは、阿武川ですから、阿武川を遡ってみましょう。阿武川は、松本川と橋本川が合流し、上流に進むと川上地域あたりで蛇行しています。さらに進むと、巨大な阿武川ダムでせき止められたダム湖がありますが、この湖は三角州を作った時期には、まだなかったはず。このあたりで佐々並の方へ向かう佐々並川と、長門峡に向かう阿武川に分かれます。萩の三角州を作っている多くの土砂は、この2つの川から運ばれてきたに違いありません。大雨の時の土砂崩れや洪水など、今だったら災害を起こすような風雨や荒れ狂う川の流れこそ、萩の街の基礎となる「三角州」を作ったに違いないのです。このように過去の洪水でもたらされた土砂は、町をつくる場所や、農作物をつくる田畑を提供してくれます。このように、災害と大地の恵みは表裏一体なのです。

この阿武川の水の流れには、河川争奪という面白い話があるのですが、これはまた長門峡や山口市阿東地区の話をするときにとっておきましょう。また、今回の半田

くんには、萩沖の海底地形と漁業の話も書いてありますが、これも笠山や萩六島の話の際にとっておきます。

さて、今回は、全編を通じて真面目な話でしたね。わっきー教授が①実は真面目であった。②真面目なときもある。③気まぐれで真面目になった。さて、みなさん、どれが正解でしょう？